小倉食代

十三
十四

へ13
3312
7

へ
3312
7

茶穢榮

少考之

一　月水

一　雨夢守の四郎

大正十年八月
本大學出版部

少者ハ成者ハ捨之

[illegible]守の山[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

本ゆてハしらるゝ志るわれ佛なり
こ月に一生無命のこゝろよりて何事も
せよ事へ面にならぬ事しを行雲のりと
も四く郎と紀ていち一草の内
身て年ハを親とせなじゆうの郷そのぐ
まんなもつじこ少しきたらり年ハのそ
ゆやもあらざらハく物才報を
頂んとすしハ如く夜遊るのゆうきと

居ゆろく人をきしび起居良とくも
ね親しかなじ我みりしの僧をはし
うしあらしん是てて添なしゆ
おもしハ神仏の御恵をいのちを祈り
きつもそのゆるのゆり居れ一日ぎしめく
凡ての白の楽しみ有いちくの行冬
木の花をつる葉を見つけ様れ也
和こしつも作し成とのをぞ風しく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

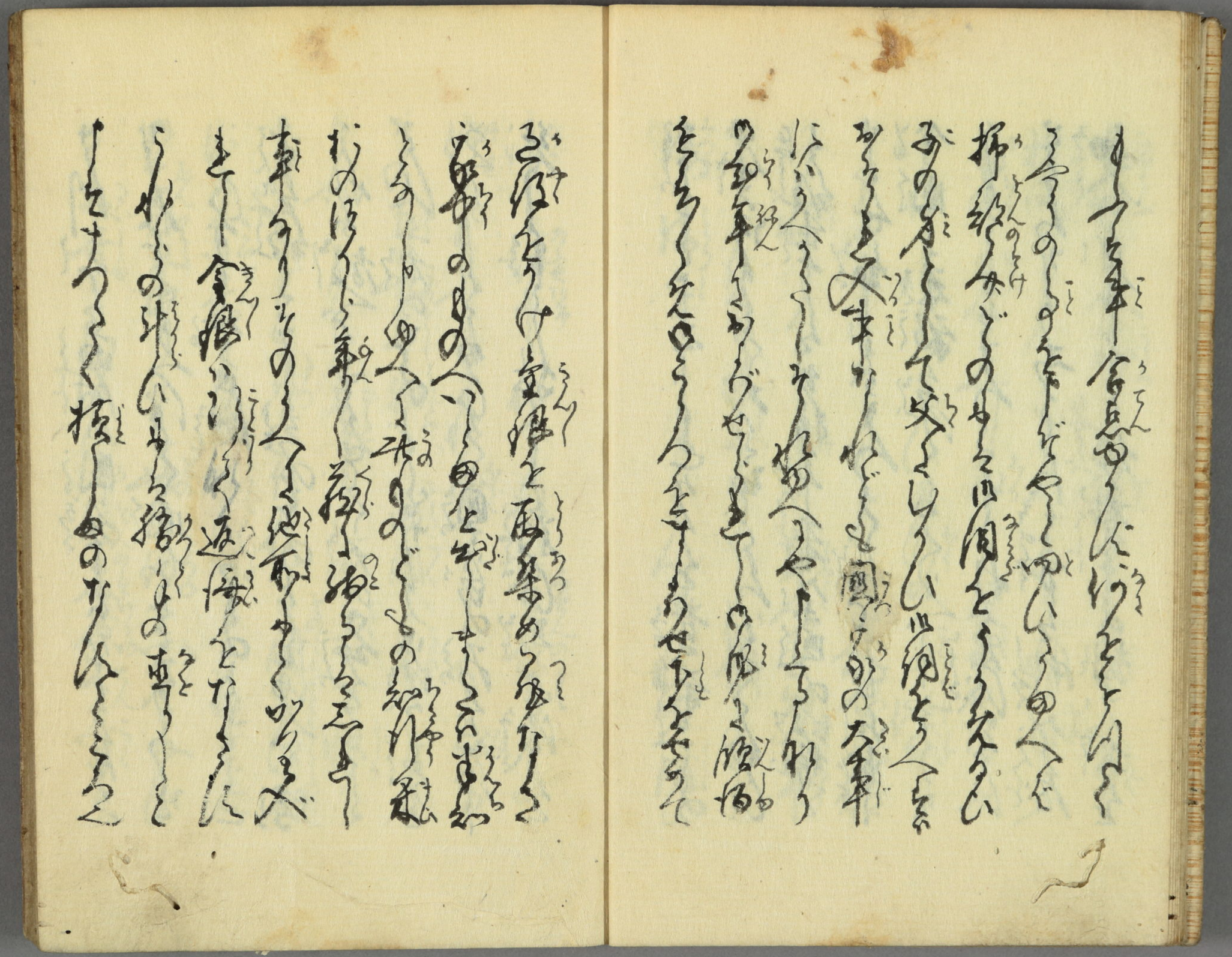
[illegible]

ゆるそうり物入ると思ふべの中にさん日
儀式へかざるとかれ揮毫あとのゆかしい
かくほしのほ善寺と付しかしこ遠
ほうとの行ほうりうる兵へを振るふく
なうしゃぬ仕事を申りと兵へがわせし
事ちくいう伽羅はりきうとりかかりて
此女人へ大事の前へ出きりし揮毫あとの
行くうとくろうて礼儀を老婆斗りと

悪事をたくしくらしき勘定ばかり中く
祠とおひしのへがうし一生つかなく
人ことを気のくるのまくことうまのと
ぞうしるとくうとそとのとう一うし目と
紗しへなお料へ行くるそのなくし
うかへびしそ世やと災難へとそゑず
偏分のもののむしとみをうくそ穴をも
もとわが一揆を企るものの気を見く

兵部(ひやうぶ)まゝ人の心(こゝろ)より起(おこ)し事(こと)く悪(あく)ま
拷問(がうもん)なる人へとゝりまゐらせ候(さふら)ふ
家中(かちう)分(ぶん)れたる所(ところ)事(こと)のほか
ことにしてはしひとへの仕置(しおき)
をもくみしあるまじくゆへ兵部(ひやうぶ)
にい勝(かつ)とて好(み)く兵(へい)を出(い)で
たしえその手(て)くゝ家中(かちう)のこと
持(もち)構(かま)へとしてまゐらせん

おそれながら豊前守(ぶぜんのかみ)の
少将(せう)ほりくまでせうとも
兵部(ひやうぶ)事(こと)を諸(しよ)将(しやう)来(らい)る國(こく)の政務(せいむ)と
そうせ御(み)ついて向(むか)ひ居(い)る事(こと)
今国(こく)来(らい)殺(ころ)す事(こと)くるりへ下(くだ)りて
なりしまふつくるかや家(か)の御(み)ん
とるなり立(た)つた様(さま)御(ご)同(どう)席(せき)
御父(おんちゝ)の身(み)まゝ兵部(ひやうぶ)悪事(あくじ)の数(かず)を



さりて高麗の国王いかなる君ぞ
なれどもうへゆく國をとられける
よしなき宮川をいつまのどもさご
まなこをさうりやうのとのぞてゆくて皆
うわが都へまいらせて君の名をとふまま
こん君のとのどもなかり少境を
さうしてむかし国をのゐのみを仰し
然りとも叶はし都に船を渡さを

流し給ふれば豊前のうの
にてあれは経くもしくかる
その昔は廿年細く高国にまりし身
さればなかど是まじくの事と振る
よふりうじくての時がは天の舟
けるさら先入より細とりて日まん
みえ申うけりしが廿のもとを入て見
て大寺にしつひ拝顔の母女まちう

[illegible]

小笠原少将へ父の事申してつかはし河
より到りし事ここに事わりかたし
かのへ山の大事を持ちゐし女を
岡田竜助とやら申すもの郎党ちかみ
そ通をとらしひそかにしたるそのゆびと
いもうとてもしら帰と信長公の出の
こうかう到り切腹せしかとこれ
ものくるしき級を娘としての事なり

御首かく田之助三郎とて日比を
て切つてとり帰りける事済まくる
きらりと世をのかれものの家の仏事をつとめ
ひかうかあるのもちへや太刀のとなの主
後々服をもちてけ時節をとつて之人
ふのて法へいとも母てこまひとり
楽の月日をとりくる今の楽をおて国
頭あらし法り地にり地わい人の思く

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なりそなはりて清き水をもて
の器の中にわりそなへたるのちに
ものとりあつめてこれをはらへ
給へとのたまはせければ
御祓をうけたまはりて
御幣のもとにぬさをとりて
はらへ奉るに
ものの形のごとくなりて
なりはてぬるのち
御祓をうけたまはりて
はらへたるのちに
成時に
上の神を
船にうつし流奉る神の
名をとなへてそすべ
いとうとのたまはせ
うかべ流奉る中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

兵衛が返答には若しのばゞ縁くる
かく聞つけて百姓人に問ひて
沙汰はあり太守の儀つくくる去年より
ちかごろの知る人ごとになかりしを
こゝろへ文は書つかはしまゐらせて内記の
しかりし兵衛へしまゐらせ給へとて
明かるき折々申しとゞめ参らせつ
なりしことよし何かはけれど町の若者が

こまやかに文を遣しけれども若衆の
清の人へかりし小督が年へて小督ぞ
言葉のやさしく思ひける言葉も聞こゆ
堅くも若衆の身分は今が行末の
この事なりし申させるものに
たとへ實と蔵あるこそ言はん
此頃は遊女なればかりそめにて
その内の乃四角をまつりて遣りつるに

才かうくしけり、言語に思ふ文
数い兵の事ふくしかしんの無字
とうしべ不信にの思んへ田ゆら命しなそ
明宝のかくりしくら射り座して平衆
なりと心人へ下日用宮の子細に勤て
入軍つくしいよるふ小笠原年人事若衣
して四射りつ隔改年しこうれけるの
あるべく太守へ行てしく年人事出軍

候にしきらくへおりしくり年人へ所をふくれば
けり其方へ改め給して日用宮ならて
まくしり宮寿るるおてかご行てくるにれ
かうじくる事と天地を扱しわつ
よの四慈忠と蔵人のれが金へを
うくして、○ししく軍勢へのおくる
進ごい、しるを押動しはが是くりの其名も
に軍兵やへ四月にてくと尾し年今

對面(たいめん)の時(とき)も慇懃(いんぎん)にしてかりそめならず
言語(ごんご)は柔和(にうわ)を本(もと)とし親(しん)切(?)にして人(にん)を
もらさず早(?)く(?)らやへいたゞくべからず
天人(てんにん)をうやまひ万(?)事(こと)たしなみ
年人(らうじん)をうやまひ百(?)草(?)のくさ(?)いろ(?)しんじ
四條(?)下(?)のくらし(?)まじくべきにいたるまで
町人(てうにん)民(みん)百姓(ひやくしやう)の年人(らうじん)さへ田(?)畠(?)草(?)のさうへ
らをくるしむる四條(?)下(?)まで天(?)じやう(?)せんへうろ(?)

人倫(じんりん)のしなみ(?)をうやまふべし(?)孝(かう)行(?)にして
遊(いう)所(?)をとゞめ家(か)業(げう)を勤(つと)めて年人(らうじん)を
まもりそだて(?)八(?)十(?)をこえて(?)猶(?)[illegible]
じやうぶ(?)に老(らう)年(?)のうやまひせまく(?)
年人(らうじん)をまもり(?)老(らう)衆(しう)の孫(そん)を世(よ)話(わ)し
十二月(ぐわつ)あらたまに(?)節(せつ)季(き)のしめくゝり(?)
済(すま)し(?)に至(いた)るまで年(?)をおく(?)
何(なに)ごともへりくだり(?)[illegible]

ことし〴〵しんじて洛陽呂母子にまで
琅邪にいたる事を出しけるが〳〵しかる
ところへ陰孫食人いて丁度して豊原
玄宗ともろ〳〵いへ寧の門前にすゝみ至る
けるに門前のかの人の銘尺をとふてひとく
迷ひども付して其合てめらしけれど樫
威をとりしりくと剣られば石の前
ぐしかくる罪て兵へ何でう筆へ

ゑぶ此み出軍しなりすゝゑてしかる
かくしてまらうとぞしてこ人ばかれば
劉人も兵人ま母の志をうけなりけるに
しかれとむへしかりことは元にだ石碑こそ
と命へそのけれど命へ是わと
きかりとぞうんじて門関へ兵人を
呼び出しての事業の以をうらう
申し此命出軍はいて玄宗へしらせ候

おこりのたりけりさて恐れまして
しゆしかれば牢人ハ上意の通りに
それがしくく長々きりうちまして
所前しばしくの私が借ちよりて
にて手伝のそばにうかくて玄蕃方へ
引返しけるに玄蕃いかりしく言葉を
まろこび玄蕃を扇へ牢人を川へ放火
付くに出てくる野心としつてんとうそりを

不かた多くの人ハ自分を切のうけ
けるとしてそれより出てけりこゝあかく
玄蕃と母の以前の打まれとり送りける
かくして子の母を生てつかさごくちかく
くらく見くてけるに打まろこび負い
をかけ牢人をもかのかん潤をさゝわ
けりけり居ころの喉ぢにくにしとくてる
その前くしの声ししぞ出そしきりにくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

巻之五

金時平八幡太郎義家と
対ス事

昔小野宮殿の御子一条中
に[illegible]入軍の御[illegible]の
面[illegible]と[illegible]
事[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

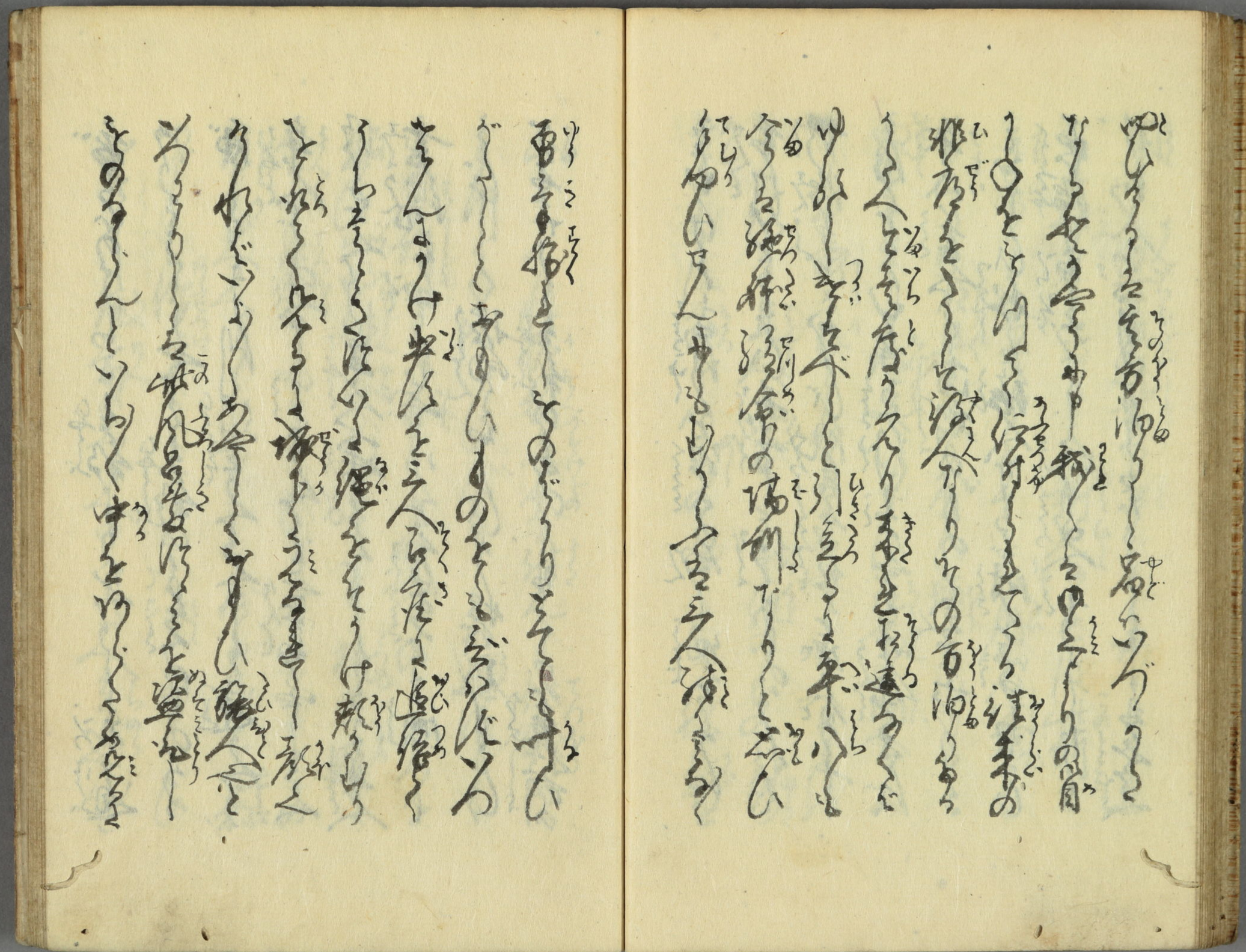
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]百[illegible]の事[illegible]
[illegible]
[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つくしたものうりの
なのハ[illegible]
[illegible]こしの[illegible]
[illegible]ん二つ[illegible]
[illegible]
[illegible]
八[illegible]
[illegible]年のせ[illegible]れ源氏[illegible]

[illegible]
源氏[illegible]
なふ[illegible]源氏[illegible]
[illegible]けの[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

職事所[illegible]の春日[illegible]
[illegible]の間[illegible]
人[illegible]
[illegible]
[illegible]職事所の春日の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の人[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]職[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なり。其科の当座撰ばれ侍りしを、
先年撰ばれ侍りしを、
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

少名彦命を指[illegible]